

令和7年度（2025年度） 飯山市子ども・子育て会議次第 顛末

日時：令和8年(2026年)3月3日(火)午後1時30分～

場所：飯山市役所4階 全員協議会室

進行 5まで及び7以降：丸山子ども育成課長、6：齋藤会長

1 開 会 丸山課長

2 委嘱状交付 新規委員に対し委嘱状を交付

3 あいさつ 市長：

本日の会議では、第三期飯山市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について議論が行われます。それに先立ち、市政の重要課題についていくつかの報告があります。

まず、小中学校の給食費についてです。選挙公約に掲げていた「完全無償化」については、財政事情等の判断から見送ることとなりましたが、小中学校ともに費用の9割を行政が負担し、保護者負担を1割とする予算案を提出しました。県内の多くの自治体が中学生に対する無償化措置を行っていない現状を踏まえると、飯山市の「小中学生ともに9割補助」という方針は、他市と比較しても決して見劣りしない手厚い支援となっています。

また、子どもを中心とした施策をさらに充実させるため、3月7日に副市長の発案による「子どもまんなか応援サポーター宣言」を行う予定です。これに関連し、図書館では子ども応援や男女共同参画に関する書籍を集めた特設コーナーを設置し、市民の皆様が手に取りやすい環境を整えています。

さらに、保育園における安全対策、特にクマ被害への対応を強化します。監査委員から園庭での安全確保について指摘を受けたことや、昨年4月に市内で発生した痛ましい人身被害の教訓を重く受け止め、新年度予算が成立次第、直ちに対策を講じます。具体的には、AIを活用した識別率9割以上の高精度なクマ検知センサーカメラを保育園に設置し、子どもたちが安心して通園できる環境づくりに尽力していく方針です。

4 自己紹介 各自自己紹介

5 会長の選出について 齋藤誠委員（民生児童委員協議会長）選出

齋藤会長：

会議の進行を務めるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。現在、少子高齢化による育児負担の増加や痛ましい児童虐待のニュースなど、子育てを取り巻く環境には由々しき課題が山積しています。私は、子どもたちの健やかな成長を最優先に、家庭や地域への支援体制の充実を目指し、一つ一つの課題に真摯に取り組んでまいります。本会議では、皆様の多様なご意見をしっかりと受け止め、実効性のある政策議論を進めていきたいと考えておりますので、お知恵とご協力をよろしくお願いいたします。

6 議 題 別紙「会議録」のとおり

(1) 第三期飯山市子ども・子育て支援事業計画の概要について

(2) 飯山市の子育て支援事業の現状について

(3) 特定教育・保育施設の利用定員の変更について

(4) 通園バスの運行および遠距離通園補助金について

(5) その他

- ・ こどもまんなか応援サポーター宣言について
- ・ 子育て世帯訪問支援事業について
- ・ 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について

7 その他 特になし

8 閉 会 教育長：

本日は、子育てに関わる皆様から活発なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

本日午前中に参加した農林高校の卒業式では、夢や希望に満ちたたのしい卒業生たちの姿を見ることができました。これからの小中学校の卒業式も含め、すべての子どもたちが将来に希望を持てるよう、学校・保護者・地域が一体となって「こどもまんなか」の取り組みを進め、飯山市としてもより具体的な支援を行っていきたいと考えています。

私自身にも 1 歳になる孫がおり、娘が子育てに悩む姿を見てきました。ネットの情報にとらわれすぎず、周囲のサポートや市の充実した支援制度をうまく活用してほしいと感じています。一方で、多くの制度があるにもかかわらず、まだ十分に知られていないという課題もあります。行政としては、これらの制度を皆様にしっかりとお知らせし、活用していただけるよう努めてまいります。

また、本当に支援を必要としている方に情報が届きにくいというジレンマも感じています。プライバシーへの配慮は必要ですが、地域の中で「こんな制度があるよ」と気軽に声を掛け合えるような、温かい社会になっていくことを願っています。

皆様におかれましては、日頃子どもたちと関わる中で気づいた点や「もっとこうなったらいいのに」という思いがありましたら、ぜひ遠慮なく教育委員会や市役所へお声をお寄せください。本日いただいた貴重なご意見とともに、今後の市政にしっかりと生かしてまいります。本日は誠にありがとうございました。